

# 法親寺新聞

2019年 秋彼岸号  
手書き新聞 No.39

こんにちわ。釋 紗音です。

今回は皆様がとても気になっているであろう...お布施について書いてみました。

お布施は、お経をあげた僧侶にお礼として渡すものではありません。しかし、お経をあげたことにより「仏法に触れることができた」と喜んでお布施を渡してくださるのなら、僧侶がお経をあげたお礼でも良いのかもしれません。

皆様から有り難くお預かりしたお布施は、僧侶が直接いただくことはありません。お寺に全て納められ、その中から給料として僧侶に渡ります。個人の収入にはもちろん税金も発生します。

お布施の多くは、本山への寄付や災害のあった地域、お寺への寄付、門徒さんやお寺に来てくださった方が快適に過ごせる様、法親寺の維持や環境管理など、ご法義を伝え、相續していく為に大七刀に使わせて頂いています。お寺の内陣の仏花、お線香、ろうそくなどの荘厳も、もちろんお布施からの供え物です。皆様がお寺を支えてくださっているのです。

僧侶は皆様が法を喜び、親しまお手伝いをさせていただき、皆様は法を喜び、仏様へお礼をお渡しする。それが理想的なお布施の在り方だと思います。秋の法座も是非!! お参りにいらして下さいね。

南無阿弥陀仏...



## 住職の法話

「争いは双方に言い分があるけえ 起ったがやあ」(如法子人 源左)さて、今問題になっている日韓関係に於いて、この言葉を当てはめてみました。「徴用工問題」「慰安婦問題」は「日韓請求権協定」に於いて、解決済だとの言い分の日本。「慰謝料」は協定には含まれていないとする韓国の言い分。政治や国益、国家間の問題なので、一概には言えませんが、感情白々にならず、対応していく必要があります。

日本の立場で国益を考えれば韓国は誤り、韓国の立場で国益を考えれば日本は誤りとの言い分になります。国益とは言え損得勘定です。大義を振りかざしても解決にはなりません。国が違えば見方も考え方も違うのです。

私は現在裁判所の家事調停委員をしています。私の立場は公正中立に申立て人と相手側双方の合意を引き出し、問題を解決することです。国と国との争いには中絶役が必要なのかもしれません。争いはどんな争いでも、自分は善人であり、相手が悪人であるとの思いから起こります。

争いは人間の煩悩から生じるもの、自己中心的な思いから生じるものです。

「争いは双方に言い分があるけえ 起ったがやあ」源左さんの言葉が身に沁みます。



## 7月15日(月) お盆法座



参詣者全員で「仏説阿彌陀經」をお勤めし、兵庫県西宮市善教寺副住職、本願寺派布教使、赤井智顕師のご法話を聴聞させていただきました。

## 7月29 ~ 31日 兵庫教区少年連盟サマー・スクール



法親寺で開会式・閉会式を行いました。



2日目にはバスで淡路海水浴場へ。



スポーツセンターでの食事の様子。自分で作ったランプシェードを使っての「ともしびのついで」。



子ども46名、スタッフ32名が集まり、法親寺を会所に開催されました。サマー・スクールは「ほけの子ども育成と交流」を目的として毎年、行われています。玉野スポーツセンターで宿泊し、朝夕のお勤め・法話・ドッジボール・物づくりなど、子どもたちが楽しんで学べる2泊3日でした。

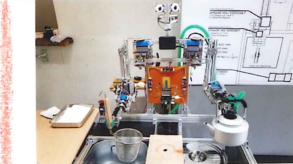
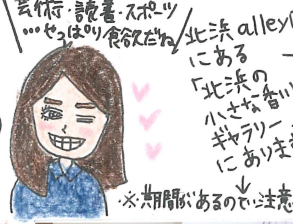


↑夜はライトアップ



↑(左)馬刺し(右)コースの小鉢

食欲の秋に突入★食べるの大好き釋里蓮です(笑)今回ご紹介するのは、炭火焼きが楽しめる、333茶屋萬久さんです。おすすめは魚の炭火焼き。コースもありますが、単品で注文することもできます。定食やコースはとにかくボリュームに驚き(900)机に乗りきらないほどの品数のものも...できたての豆腐や入れ物にもこだわった茶碗蒸しなど、見て楽しい、食べて美味しい。お料理は是非♡ 岡山市北区国南町1-8-18 11:00~15:00 086-233-7789 無休 (17:30~21:30)



カワイ「うどん湯セロロボット」



丸亀うぢわの骨7000枚のイ作品。



香川といえば「一鶴」

## お知らせ



●日時● 令和元年 10月22日(火)午後1時~  
●場所● 法親寺 本堂  
●講師● 住職  
\*お車は隣接馬場駐車場又は臨時馬場(ハローワークバス停)をご利用下さい。北前

## 秋季 永代経法座